



エリア施設等	【フェーズ1】 各対象施設・エリアの利活用プラン案(たたき台)の作成				【フェーズ2】 各対象施設・エリアの利活用プラン案の設定															
	現状・課題等整理		初期期の意向把握		利活用プラン案(たたき台)		地区住民アンケート				地区住民等ワークショップ		近隣市若者子育て世代アンケート		利活用プラン案					
	既存施設の現状 ※公園全体面積：約2.8ha	再生課題	地域団体アンケート 関係団体・事業者 ヒアリング	まちづくり会議 参加者への意見募集 (求める機能充実)	再生の 方向性 案	導入機能案	各既存施設の「満足度」と「利用頻度」	導入機能案の「必要性」「利用頻度」		利活用プラン案の掘り下げ・新たな提案の掘り上げ		導入機能案の実現のための課題と解決に向けた取組み検討		あなたが住む地域の公園において、あったら利用したい機能		再生の方向性	再生整備事業	導入機能案 ※アンダーライン部はフェーズ1のたたき台から追加された機能案		
公園部	● <b>上段部(南西部)</b> ・生育した樹木が多い ・ベンチ、テーブル、ブランコ、滑り台、円形花壇が設置されている ・メインゲートと公園高低差があり階段のみのアクセス(車いすは北側への迂回必要)	● <b>新規機能の導入にあたっての既存機能との調整</b> ● <b>地区全体のコンセプトと連動した金剛中央公園全体の役割、青少年スポーツホール等の建て替え再編と導入機能の検討</b>	● <b>【地域団体アンケート】</b> ● <b>金剛地区をフィールドとして活動する可能性</b> ・回答のあった市内の市民公益活動団体20団体の内、16団体(約8割)が「活動・活動拡大の可能性がある」、「条件を整えば活動・活動拡大の可能性ある」と回答	● <b>青少年SH(機能充実)</b> ・カフェ、コンビニ <b>(整備方法)</b> ・「金剛中央公園整備計画案(UR金剛団地自治会作成)」を取り入れた建替・全面改修 ・SHと金剛プールの一体化等	● <b>全健様</b> ● <b>健康を</b> ● <b>豊と動</b> ● <b>かしの</b> ● <b>にた</b> ● <b>一</b> ● <b>生</b> ● <b>交</b> ● <b>街</b> ● <b>流</b> ● <b>生</b> ● <b>者</b> ● <b>き</b> ● <b>に</b> ● <b>ネ</b> ● <b>と</b> ● <b>ツ</b> ● <b>活</b> ● <b>開</b> ● <b>ト</b> ● <b>ワ</b> ● <b>カ</b> ● <b>ワ</b> ● <b>レ</b> ● <b>キ</b> ● <b>タ</b> ● <b>ク</b> ● <b>る</b> ● <b>活</b> ● <b>の</b> ● <b>多</b> ● <b>用</b> ● <b>場</b> ● <b>目</b> ● <b>に</b> ● <b>一</b> ● <b>的</b> ● <b>の</b> ● <b>健</b> ● <b>創</b> ● <b>発</b> ● <b>出</b> ● <b>公</b> ● <b>展</b> ● <b>園</b> ● <b>的</b> ● <b>へ</b> ● <b>な</b> ● <b>の</b> ● <b>交</b> ● <b>再</b> ● <b>流</b> ● <b>促</b> ● <b>進</b>	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動や交流スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ※民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案の導入機能(たたき台)からは除外	● <b>公園部の満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が68%と多く、満足度については「わからない」が35%、「どちらでもない」が28%と利用されておらず、関心も薄いと考えられる	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動や交流スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ※民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案の導入機能(たたき台)からは除外	● <b>第1位(167人)</b> ・全ての世代で1位と地区住民には最も求められる機能と考えられる ● <b>第5位(22人)</b> ・最下位であり、地区住民からの必要性は比較的低い ● <b>第3位(84人)</b> ・10~30歳代までの若者世代では第2位と高い評価を得ている ● <b>第4位(56人)</b> ・全世代では下位だが、60歳以上では3位となっている ● <b>第2位(119人)</b> ・特に40歳以上で評価が高くバリアフリーアクセスが求められている	● <b>掘り下げ意見</b> ・BBQ施設の拡充 ・アスレチック遊具 ・休憩ベンチ ・バリアフリー周遊路(入口のバリアフリー化)	● <b>課題</b> ・BBQ施設は管理の問題あり ・金剛ショッピングモール側のメインゲートのアプローチに段差があることも利用率が低い原因であり、高齢者や子ども連れの人にも来園しやすくなるようバリアフリー化が課題 → <b>取組案</b> ・建物との一体的なバリアフリー化(南西側入口から建物上層階への空中歩道と施設内E.Vで地上とつなぐ)	● <b>第1位</b> ・「多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場)」 ● <b>第2位</b> ・「公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化)」 ● <b>第3位</b> ・「健康遊具」 ● <b>第4位</b> ・「屋内子ども遊戯施設」 ● <b>第5位</b> ・「健康・スポーツ拠点施設(室内競技、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等)」 ● <b>第6位</b> ・「パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事)」 ● <b>第7位</b> ・「多目的に利用できるグラウンド(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等)」 ● <b>第8位</b> ・「子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等)」 ● <b>第9位</b> ・「まちづくり活動や交流スペース」 ● <b>第10位</b> ・「じゃぶじゃぶ池などの親水空間」	● <b>掘り下げ意見</b> ・芝生による青少年から高齢者まで全ての方が利用可能な多目的広場の再編 ・ヨガ・サッカー教室等の健康プログラム展開	● <b>課題</b> ・誰も利用しやすい多目的利用化 → <b>取組案</b> ・民間主体のアクティビティイベントの実施	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・子どもの自習施設 ・コワーキングスペース ・レンタルオフィス ・高齢者の社会参加支援につながる地域の交流スペース ・風呂・プール機能	※WSにおいて再度、風呂・プール機能の要望があがったが、民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案(導入機能案)からは除外	● <b>公園部の再整備</b> ● <b>健康レクリエーションひろばとしての機能整備</b> ● <b>多目的ひろばとしての活用促進</b> ● <b>青少年SHを多機能施設として建替え(子育て支援機能を含む多機能施設の整備)</b> ● <b>子育て支援機能を含む多機能施設の整備</b>	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場、休憩できるベンチやあずまや、BBQスペース) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事ができる環境) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具・アスレチック等 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動・多目的な交流・文化活動スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ⑪青少年の自習室・図書スペース ⑫コワーキングスペース(小規模オフィス空間) ⑬高齢者の社会参加支援施設
	● <b>下段部(西側部)</b> ・生育した樹木が多い ・北側からの車両通路があり、沿道には桜並木があるが、特に滞留空間としては利用されていない		● <b>公衆トイレ</b> ・北側入口部に立地	● <b>【整備してほしい施設(第1位)】</b> ● <b>集合施設(6団体)</b> ● <b>(第2位)</b> ● <b>レンタルスペース(子育て、健康づくり)(5団体)</b> ● <b>(第3位)</b> ● <b>公園、広場(3団体)</b>	● <b>公園部・金剛中央グラウンド(機能充実)</b> ・シャワー室、グラウンドゴルフ、ベンチ、噴水、グラウンド芝生化、観戦スペース、駐車場、BBQができるスペース <b>(整備方法)</b> ・民間施設・施設・健康関連施設等の複合整備	● <b>金剛中央グラウンドの満足度・利用頻度</b> ・「利用していない」が75%、満足度も「わからない」が42%、「どちらでもない」が34%と、幅広い住民に利用されていないと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が53%、「どちらでもない」が25%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>金剛テニスコートの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が91%と多く、満足度も「わからない」が55%、「どちらでもない」が27%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が56%と高い頻度となっている ● <b>第1位(102人)</b> ・全体的に地区住民の評価が高く最も求められる機能と考えられる ● <b>第4位(28人)</b> ・全世代では、最下位だが、60歳以上で2位と上位評価となっている ● <b>第2位(82人)</b> ・子育て世代を中心に評価が高く、30歳以下では1位となっている ● <b>第3位(57人)</b> ・30歳以下の子育て世代では、健康・スポーツ拠点施設に次ぐ3位となっている	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的に利用できるグラウンド(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ● <b>第8位</b> ・「子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等)」 ● <b>第9位</b> ・「まちづくり活動や交流スペース」 ● <b>第10位</b> ・「じゃぶじゃぶ池などの親水空間」	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・子どもの自習施設 ・コワーキングスペース ・レンタルオフィス ・高齢者の社会参加支援につながる地域の交流スペース ・風呂・プール機能	※WSにおいて再度、風呂・プール機能の要望があがったが、民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案(導入機能案)からは除外	● <b>公園部の再整備</b> ● <b>健康レクリエーションひろばとしての機能整備</b> ● <b>多目的ひろばとしての活用促進</b> ● <b>青少年SHを多機能施設として建替え(子育て支援機能を含む多機能施設の整備)</b> ● <b>子育て支援機能を含む多機能施設の整備</b>	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場、休憩できるベンチやあずまや、BBQスペース) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事ができる環境) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具・アスレチック等 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動・多目的な交流・文化活動スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ⑪青少年の自習室・図書スペース ⑫コワーキングスペース(小規模オフィス空間) ⑬高齢者の社会参加支援施設		
	● <b>金剛中央グラウンド(野球場)</b> ・敷地面積：7,830㎡ ・利用者数：30,841人/年 ・稼働率：23.4%(R元年度) ※使用料：無料(利用登録が必要) ※指定管理者：ミズノ		● <b>青少年スポーツホール(体育館)</b> ・延床面積：1,069㎡(内、体育館分：705㎡) ・利用者数：35,052人/年 ・稼働率：62.7%(R元年度) <b>新耐震基準未達</b> ※使用料：無料(利用登録が必要) ※指定管理者：ミズノ	● <b>活動を想定する場所</b> ・4対象施設・エリアの内、金剛中央公園は5団体(約2割)が活動する場合の場所・施設として選択 ● <b>金剛中央公園にあると活動しやすくなると思う施設機能</b> (第1位) 飲食店・カフェ(7団体) (第2位) 駐車場(6団体) (第3位) 高齢者・障がい者施設(4団体) (第4位) 子育て支援・保育施設(3団体)	● <b>園路・動線(機能充実)</b> ・ウォーキング、ジョギングコース、周遊路 ・案内標識、高齢者等のためのスロープ設置	● <b>金剛中央公園の満足度・利用頻度</b> ・「利用していない」が75%、満足度も「わからない」が42%、「どちらでもない」が34%と、幅広い住民に利用されていないと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が53%、「どちらでもない」が25%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>金剛テニスコートの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が91%と多く、満足度も「わからない」が55%、「どちらでもない」が27%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が56%と高い頻度となっている ● <b>第1位(102人)</b> ・全体的に地区住民の評価が高く最も求められる機能と考えられる ● <b>第4位(28人)</b> ・全世代では、最下位だが、60歳以上で2位と上位評価となっている ● <b>第2位(82人)</b> ・子育て世代を中心に評価が高く、30歳以下では1位となっている ● <b>第3位(57人)</b> ・30歳以下の子育て世代では、健康・スポーツ拠点施設に次ぐ3位となっている	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的に利用できるグラウンド(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ● <b>第8位</b> ・「子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等)」 ● <b>第9位</b> ・「まちづくり活動や交流スペース」 ● <b>第10位</b> ・「じゃぶじゃぶ池などの親水空間」	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・子どもの自習施設 ・コワーキングスペース ・レンタルオフィス ・高齢者の社会参加支援につながる地域の交流スペース ・風呂・プール機能	※WSにおいて再度、風呂・プール機能の要望があがったが、民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案(導入機能案)からは除外	● <b>公園部の再整備</b> ● <b>健康レクリエーションひろばとしての機能整備</b> ● <b>多目的ひろばとしての活用促進</b> ● <b>青少年SHを多機能施設として建替え(子育て支援機能を含む多機能施設の整備)</b> ● <b>子育て支援機能を含む多機能施設の整備</b>	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場、休憩できるベンチやあずまや、BBQスペース) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事ができる環境) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具・アスレチック等 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動・多目的な交流・文化活動スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ⑪青少年の自習室・図書スペース ⑫コワーキングスペース(小規模オフィス空間) ⑬高齢者の社会参加支援施設		
● <b>青少年スポーツホール(テニスコート)</b> ・延床面積：680㎡ ・利用者数：5,860人/年 ・稼働率：54.7%(R元年度) ※使用料：無料(利用登録が必要) ※指定管理者：ミズノ	● <b>屋外プール</b> ・老朽化で使用不可(閉鎖)	● <b>スポーツ施設用駐車場(約20台)</b> ・SH前に立地	● <b>公園活用アイデア</b> ・健康プログラム(青空ヨガ、フットサル教室、公園内ラジオ体操)	● <b>金剛中央公園の満足度・利用頻度</b> ・「利用していない」が75%、満足度も「わからない」が42%、「どちらでもない」が34%と、幅広い住民に利用されていないと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が53%、「どちらでもない」が25%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>金剛テニスコートの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が91%と多く、満足度も「わからない」が55%、「どちらでもない」が27%とほとんど利用されておらず関心も薄いと考えられる	● <b>青少年スポーツホールの満足度・利用頻度</b> ・利用頻度は「利用していない」が56%と高い頻度となっている ● <b>第1位(102人)</b> ・全体的に地区住民の評価が高く最も求められる機能と考えられる ● <b>第4位(28人)</b> ・全世代では、最下位だが、60歳以上で2位と上位評価となっている ● <b>第2位(82人)</b> ・子育て世代を中心に評価が高く、30歳以下では1位となっている ● <b>第3位(57人)</b> ・30歳以下の子育て世代では、健康・スポーツ拠点施設に次ぐ3位となっている	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的に利用できるグラウンド(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ● <b>第8位</b> ・「子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等)」 ● <b>第9位</b> ・「まちづくり活動や交流スペース」 ● <b>第10位</b> ・「じゃぶじゃぶ池などの親水空間」	● <b>掘り下げ意見</b> ・多目的活用空間(お好みに使える小規模会場・文化教室・カラオケ・囲碁・麻雀) ・子育て支援屋内遊具 ・カフェ(ママ友同士の交流の場) ・図書館機能	● <b>課題</b> ・機能の優先順位の検討 ・施設規模と事業手法の検討 ・公共と民間の役割分担 ・民間連携方針の検討(一定の公共性は担保) ・整備検討のための推進組織づくり → <b>取組案</b> ・金剛地区のシンボル拠点としての多機能施設への建替え事業化	● <b>掘り下げ意見</b> ・子どもの自習施設 ・コワーキングスペース ・レンタルオフィス ・高齢者の社会参加支援につながる地域の交流スペース ・風呂・プール機能	※WSにおいて再度、風呂・プール機能の要望があがったが、民間施設も含めた広域利用対象施設となる風呂・プールについては、外環の内側(地区より3km圏内)に既存施設が立地していること、また類似施設機能(じゃぶじゃぶ池)を見込んでいることから利活用プラン案(導入機能案)からは除外	● <b>公園部の再整備</b> ● <b>健康レクリエーションひろばとしての機能整備</b> ● <b>多目的ひろばとしての活用促進</b> ● <b>青少年SHを多機能施設として建替え(子育て支援機能を含む多機能施設の整備)</b> ● <b>子育て支援機能を含む多機能施設の整備</b>	①多様な憩い方が可能な広場(木漏れ日がある芝生広場、休憩できるベンチやあずまや、BBQスペース) ②パークテレワーク機能(ベンチ等に座って仕事ができる環境) ③じゃぶじゃぶ池などの親水空間 ④健康遊具・アスレチック等 ⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化) ⑥中央グラウンドの多目的利用(青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等) ⑦健康・スポーツ拠点施設(バドミントン、バレ、ポルダリング、ヨガ・フィットネス等) ⑧まちづくり活動・多目的な交流・文化活動スペース ⑨屋内の子ども遊戯施設 ⑩子育て支援施設(一時預かり、相談所、パパママカフェ等) ⑪青少年の自習室・図書スペース ⑫コワーキングスペース(小規模オフィス空間) ⑬高齢者の社会参加支援施設				



利活用プラン案		【フェーズ3】 各対象施設・エリアの利活用プラン案における導入機能案の評価 ～各ステークホルダー(※)との利活用プラン案の共有も踏まえ整理～ (※南海電鉄、UR 都市機構、大阪狭山市、庁内関係部署)							
再生の方向性	再生整備事業	導入機能案	都市機能配置上の課題、施策・事業計画等との整合性を踏まえた導入効果等	既存サービス・機能配置等の状況	総評 (整備機能導入の必要性)				
<p>●●●●</p> <p>全健康の住民が健康で豊かに生きたく活動の軸とした生活のネットワークの成長を促すための健康公園への再編</p> <p>●●●●</p> <p>未来を担う子どもたちの交流のネットワークの成長を促すための健康公園への再編</p> <p>●●●●</p> <p>子育て支援機能の充実</p>	公園部の再整備	①多様な憩いが可能な広場 (木漏れ日がある芝生広場、休憩できるベンチやあずまや、BBQスペース)	<p>・金剛地区の中心的な近隣公園として、公園本来のレクリエーション機能の充実と共に多世代の利用を促進する機能を導入効果は高いと考えられる。</p> <p>・芝生広場、ベンチやあずまやは、公園本来のレクリエーション機能として、多世代の利用促進を図る上でも、コロナ禍に対応した屋外交流の場としても当該地における導入効果は高いと考えられる。</p> <p>・BBQ スペースについては、身近なレクリエーション機能として、利活用の幅を広げる意味では一定の導入効果はあるが、周辺環境への配慮が必要と考えられる。</p>	<p>・生育した樹木による緑陰もあり、近隣公園としての一般的な公園・広場機能は提供できているが、多世代利用につながる多様な憩い方ができる広場空間としての提供には至っていない。</p>	<p>・木漏れ日ある芝生広場や休憩ベンチやあずまや：利用率の低い公園であるが、木漏れ日ある芝生広場を整備したり、ベンチやあずまやを設置することで、ピクニックやお花見等の多様な憩いの場が創出され利活用促進につながることから必要性は高い。(地区住民アンケートでも高い必要性評価を得ている。)</p> <p>・BBQ スペース：周辺への影響や管理・運営等の事業性を踏まえ検討が必要。</p>	高			
		②パークテレワーク機能 (ベンチ等に座って仕事ができる環境)				<p>・テレワーク機能の需要は駅前が強いと考えられるが、コロナ禍における昨今の働き方の変容から屋外の豊かな自然環境下でのテレワークは、駅前での機能との棲み分けが可能であり、付加的な機能として一定の導入効果はあると考えられる。</p>	<p>・テーブル併設のベンチは、公園内に数か所あるもののテレワークが快適に行えるあずまや、Wi-Fi等の環境は整っていないため、費用対効果を踏まえたサービス内容の検討が必要となる。</p>	中	
		③じゃぶじゃぶ池などの親水空間				<p>・市民プールとは差別化される、春・夏期の地区住民(特に子育て世代、祖父母と孫等)の身近なレクリエーション機能(水遊び場)として、当該地における導入効果は高いと考えられる。</p>	<p>・プールが閉鎖されており、地区内において春・夏期の身近な水遊び場としての施設は整っていない。</p>	<p>・小さい子どもの遊び場が不足する公園であるが、じゃぶじゃぶ池を整備することで親子・祖父母と孫の憩いふれあいの場が創出され子育て世帯の利活用促進につながるから必要性は高い。(地区住民アンケートでも一定の必要性評価を得ている。)</p> <p>※ただし、オフシーズン(水抜き状態)における利用や景観に配慮した計画検討が必要。</p>	高
		④健康遊具・アスレチック等				<p>・地区住民の身近な健康増進施設である健康遊具は、コロナ禍における屋外健康活動の場としても当該地における導入効果は高いと考えられる。</p> <p>・アスレチック遊具(コンビネーション遊具)については、子どもの利用を促進していく意味では一定の導入効果はあると考えられる。</p>	<p>・身近な健康増進施設である健康遊具は、地区内では、寺池公園にわずかしが整っていない。</p> <p>・アスレチック遊具(コンビネーション遊具)は、地区に隣接する広域利用対象施設である錦織公園に複数設置されている。</p>	<p>・健康遊具：利用率の低い公園であるが、不足する健康遊具を整備することで、高齢者をはじめとした健康増進の場となることから必要性は高い。(地区住民アンケートでも一定の必要性評価を得ている。)</p> <p>・アスレチック遊具(コンビネーション遊具)：周辺既存施設状況も勘案した費用対効果等の事業性を踏まえ検討していく。</p> <p>※いずれも周辺公園とのネットワーク・回遊性等を念頭に置いた計画検討が必要。</p>	高一部(低)
		⑤公園を周遊する園路・スロープ(バリアフリー化)				<p>・周遊路は、公園の回遊機能に加え、ウォーキングによる健康増進機能として導入効果が高いと考えられる。</p> <p>・メインゲート(ふれあい大通)からのアプローチ路のバリアフリー化やエントランスの整備は他世代の利用促進や公園の視認性向上のためにも、必要性が高いと考えられる。</p>	<p>・地形の制約上、メインゲート(ふれあい大通り側)から各公園内施設へのアプローチにおいてバリアフリー化が図られていない(北側からの迂回が必要となっている)。</p>	<p>・公園の内外ネットワーク化と共にウォーキング等の健康増進の場にもなることから必要性が高い。(地区住民アンケートでも必要性順位・想定利用頻度ともに高くなっている。)</p> <p>※なお、下段の「青少年SHの多機能施設建替え」による建物との一体的なバリアフリー化も含め検討が必要。</p>	高
	⑥中央グラウンドの多目的利用 (青空ヨガ、グラウンドゴルフ、サッカー教室等)	<p>・老若男女全ての住民等に開かれた気軽に使える屋外の貴重な多目的健康・運動広場として、近隣公園である当該地における必要性は高いと考えられる。</p>	<p>・一般的なグラウンドとしての機能は提供できているが、老若男女全ての住民が多目的に利用できる広場空間としての利活用が出来ていない。</p>	<p>・偏った活用となっているグラウンドの多目的利用化を図ることで、老若男女全ての住民・市民等が多目的に集える交流・レクリエーションの場となることから必要性は高い。(地区住民アンケートでも中位の必要性評価、想定利用頻度については比較的高い評価を得ている。)</p> <p>※なお、多目的利用化にあたっては、既存施設の利用調整等の使い方の工夫や民間のアクティビティイベント等の多目的な利活用を促進するソフト施策の検討も必要。</p>	高				
	青少年SHを多機能施設として建替え(子育て健康・スポーツ文化・高齢福祉・多世代交流拠点整備)	子育て支援機能を含む多機能施設の整備	⑦健康・スポーツ拠点施設 (バドミントン、バレーボール、ボルダリング、ヨガ・フィットネス等)	<p>・既存のスポーツホール(体育館)は老朽化等により施設そのもののあり方が課題となっている。地区外に市民総合体育館があるものの、金剛地区の身近な屋内スポーツ施設としての一定の必要性はあると考えられる。</p>	<p>・一般的なアリーナ(体育館)としての機能は提供できているが、老朽化から施設そのもののリニューアルが求められている。</p>	<p>・既存施設の老朽化が進んでいることや、身近な地域屋内スポーツホール(アリーナ)機能に加え、若者・子育て世代を呼び込む機能を付加することで、多世代による多目的な健康・スポーツ活動の場となることから必要性は高いと考えられる。(地区住民アンケートでも必要性順位・想定利用頻度ともに高い評価を得ている。)</p>	高		
			⑧まちづくり活動・多目的な交流・文化活動スペース	<p>・まちづくり活動や多目的な交流スペース(個室のスペース・広間的スペース)については、需要やニーズを踏まえ、地区内において不足している類似施設の機能を補完するためにも、必要性は高いと考えられる。</p> <p>・住民等の活動の活発化や、交流の場としての導入効果も高いと考えられる。</p>	<p>・市役所金剛連絡所2階ホールや市立集会所等の類似施設は、周辺において個別散在的に提供できているが、多世代が多目的な交流を促進するスペースとしての機能提供は地区内に少ない状況である。</p>	<p>・多機能化により多世代が多目的に集う場となることから想定される当該複合施設にまちづくり活動や多目的な交流スペース(個室のスペース・広間的スペース)を整備することで、一層の多世代交流やまちづくりにおける活動連携につながるから一定の必要性があると考えられる。(地区住民アンケートでも一定の必要性評価を得ている。)</p> <p>※まちづくり活動等に活用する個室のスペースの機能導入にあたっては、他の類似施設と相互に機能分担・補完が可能な配置検討も必要となる。</p>	中		
			⑨屋内のこども遊戯施設	<p>・金剛地区における、子ども・子育て世代を中心に利用しやすい施設の整備が課題となっており、全天候型の屋内こども遊戯施設(児童館機能)は、乳幼児から中学生までの子どもや子育て世代等の親子の利用促進につながることを期待でき、青少年SHの多機能建替えにおける導入効果は高いと考えられる。</p>	<p>・地区周辺において、雨天でも子どもがのびのびと遊べる全天候型の屋内こども遊戯施設は整っていない。</p>	<p>・市の施策方針である「子育てするなら富田林」・「子育て支援機能の充実」、地区全体課題である「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向け、子どもの遊び・健康増進・情操育成の場となる屋内こども遊戯施設、及び乳幼児の一時預かりや子育て相談、子育て中の人の交流等をサポートする子育て支援施設の必要性は高いと考えられる。(地区住民アンケートでも若者・子育て世代を中心に高い必要性評価を得ている。)</p> <p>※相乗効果を踏まえ、屋内こども遊戯施設と子育て支援施設は併設を前提とした検討が必要となる。</p>	高		
			⑩子育て支援施設 (一時預かり、相談所、ババママカフェ等)	<p>・子どもの遊び場(⑨屋内こども遊戯施設)とあわせて、来館した保護者に子育てに関する相談や情報提供が行える機能を備えた子育て支援施設は、市の施策方針に照らしても、導入機能として必要性が高いと考えられる。</p>	<p>・地区内、及び地区周辺において、NPO団体等による子育て支援事業が展開されているが、子育て支援センター等の中核的施設機能は整っていない。</p>	<p>・自習室：青少年の自習室を整備することで、青少年の勉強・交流・憩いの場となり、一層の多世代利用促進につながるから、その必要性は高いと考えられるが、「∞KON ROOM」の利用状況や社会実験の実施状況も踏まえた検証が必要となる。</p> <p>・図書スペース：市営施設としての中核的な機能の必要性は低いが、まちライブラリーなどの民間主体の私設図書スペース(コーナー)については一定の必要性があると考えられる。</p> <p>※将来的に再整備等が必要となる金剛図書館のあり方と合わせた検討も必要。</p>	高一部(中)(民間図書スペース)		
			⑪青少年の自習室・図書スペース	<p>・Topicのような若者の育成拠点・居場所となる施設は、地区周辺になく、青少年SHの建替えにおいて、多世代利用促進につながる青少年の自習室機能は、ニーズや市の施策方針に照らしても導入効果は高いと考えられる。</p> <p>・図書スペースについては、地区内に、隣接する金剛図書館があることから市営施設としての導入必要性は低い、寄贈された絵本等に限定した図書スペース(コーナー)は一定の導入効果があると考えられる。</p>	<p>・近接する地区センター施設の一画に整備された金剛地区魅力向上拠点「∞KON ROOM(インフィニットコンルーム)」において、青少年の自習室機能の社会実験が行われている。(令和3年1月～令和5年2月まで)</p> <p>・地区内に、中核的な図書施設として、子どもの居場所にもなる金剛中央図書館があるものの、まちライブラリーなどの身近な図書スペースは、整っていない。</p>	<p>・コロナ禍での働き方の変容、アフターコロナにおける新たな日常といった今後の社会情勢を鑑み、多機能建替えにおける多世代・多目的利用促進を補完する付加的な導入機能として一定の必要性があると考えられるが、「∞KON ROOM」での社会実験の実施状況を踏まえた検証が必要となる。</p>	中		
			⑫コワーキングスペース(小規模オフィス空間)	<p>・コワーキングスペースの需要は駅前が強いと考えられるが、健康・スポーツ施設との併設による相乗効果・利用促進(健康増進活動+仕事利用の促進)を図る付加的な機能として一定の導入効果があると考えられる。</p>	<p>・近接する地区センター施設の一画に整備された金剛地区魅力向上拠点「∞KON ROOM(インフィニットコンルーム)」において、コワーキングスペース機能の社会実験が行われている。(令和3年1月～令和5年2月まで)</p>	<p>・地区内の福祉事業所の現況・需要・ニーズや金剛老人憩いの家の利用状況も含めた具体施設のあり方検討が必要となるが、多世代利用促進につながる高齢者の社会参加支援施設は、アフターコロナを見据え公園部等と連携した広い屋外スペースの確保が可能な面でも一定の必要性があると考えられる。</p>	中		
			⑬高齢者の社会参加支援施設	<p>・地区内の福祉事業所の現況・需要・ニーズや金剛老人憩いの家の利用状況も含めた具体施設のあり方検討が必要となるが、多世代利用促進につながる高齢者の社会参加支援施設は、アフターコロナを見据え公園部等と連携した広い屋外スペースの確保が可能な面でも一定の必要性があると考えられる。</p>	<p>・地区周辺において、福祉事業所や老人憩いの家は、個別散在的に提供できているが、社会参加につながる多世代交流を促進するスペースとしての機能提供にまでは至っていない。</p>	<p>・地区内の福祉事業所の現況・需要・ニーズや金剛老人憩いの家の利用状況も含めた具体施設のあり方検討が必要となるが、多世代利用促進につながる追加導入機能として、また、アフターコロナを見据え公園部と連携した広い屋外スペースの確保、各子育て支援施設や交流スペースと連携した社会参加支援が可能となる面で一定の必要性がある。</p>	中		



エリア施設等	【フェーズ1】 各対象施設・エリアの利活用プラン案（たたき台）の作成					【フェーズ2】 各対象施設・エリアの利活用プラン案の設定										
	現状・課題等整理		初期期の意向把握		利活用プラン案（たたき台）	地区住民アンケート					地区住民等ワークショップ		近隣市若者子育て世代アンケート	利活用プラン案		
	既存施設の現状	再生課題	地域団体アンケート 関係団体・事業者ヒアリング	まちづくり会議 参加者への意見募集 (求める機能充実)	再生の方向性 案	各既存施設の 「満足度」と 「利用頻度」	導入機能案の「必要性」「利用頻度」			必要と回答した人を対象 とした想定利用頻度	評価	利活用プラン案の 掘り下げ・新たな提案 の掘り出し	導入機能案の実現の ための課題と解決に 向けた取組み検討	あなたが住む地域の商 店街においてあったら 利用したい機能	再生の 方向性	再生 整備 事業
金剛銀座街商店街・中央広場・ピュア金剛跡	<b>【施設の現況】</b> <b>●金剛銀座街商店街</b> ・土地・施設所有者：UR都市機構 ・全18ブース（ピュア金剛跡除く） （内使用15ブース・13店舗） ※R3年2月末時点 ・ <b>南棟（12ブース）</b> （内使用9ブース・9店舗） [店舗種別] 電気製品店 空手道場 精肉店 整骨院 事務所 美容室 ヘアーサロン 飲食店（すし会席） 介護事業所 ・ <b>東棟（3ブース）</b> （内使用3ブース・2店舗） [店舗種別] 銀行（2ブース利用）、 コミュニティカフェ ・ <b>西棟（3ブース）</b> （内使用3ブース・2店舗） ※ピュア金剛跡と一体建物 [店舗概要] ダンススタジオ（2ブース利用） 日用品・荒物・金物店 <b>●ピュア金剛跡</b> （旧金剛公設市場跡） ・土地・施設所有者：UR都市機構 新耐震基準未達・閉鎖中 <b>●歩道橋</b> ・施設所有・管理者：富田林市 ・歩道橋の階段おどり場とピュア金剛跡の建物が接続されたものとなっている。	●ピュア金剛跡地の方向性についてURと段階的に共有・協議していくことが必要 ●地区全体のコンセプトと連動するとともに、金剛銀座街商店街との関係やふれあい大通りとの関係性を踏まえた活用方策について検討が必要	<b>【地域団体アンケート】</b> <b>●金剛地区をフィールドとして活動する可能性</b> ・回答のあった市内の市民公益活動団体20団体の内、16団体（約8割）が「活動・活動拡大の可能性がある」、「条件が整えば活動・活動拡大の可能性がある」と回答 <b>●整備してほしい施設</b> (第1位) 集会所(6団体) (第2位) レンタルスペース(子育て、健康づくり) (5団体) (第3位) 公園、広場(3団体) <b>●活動を想定する場所</b> ・4対象施設・エリアの内、 <b>金剛銀座街商店街（ピュア金剛跡）</b> は6団体（約2割5分）が活動する場合の場所・施設として選択 <b>●金剛銀座街商店街（ピュア金剛跡）にあると活動しやすくなると思う施設機能</b> (第1位) 飲食店・カフェ(7団体) 商業施設(7団体) (第2位) 子育て支援、保育施設 病院、クリニック 駐車場 (3施設とも5団体)	<b>●商業・飲食施設</b> (小売) ・ドラッグストア ・ホームセンター ・スーパー ・ショッピングモール、道の駅等 (飲食 他) ・ブックカフェ ・コミュニティカフェ ・BBQができるスペース ・マハイキング施設等 <b>●ピュア金剛跡地の活用</b> ・コワーキングスペース ・テレワークスペース ・建替える場合は低層階への商業機能の導入 <b>●子育て・高齢者施設</b> ・子育て支援機能 ・子どもの遊び場 ・高齢者福祉機能 <b>●ソフト的取組の提案等</b> ・近隣住民を多く集められるイベント開催	●●● 地心再生の生い立ち テレマリンシとヤヤ連動する波街し及た的の公効回民果遊連を性携生・にむ滞よピ留るユ性複アを合金促機剛進能跡す化の再空編間活用編	①屋内のこども遊戯施設 ②子育て支援施設（一時預かり、相談所、パパママカフェ等） ③食育や農業体験などのレクリエーション施設（こども料理教室等） ④若者から高齢者の集い場や多目的サロン、相談室 ⑤青少年の自習室 ⑥高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオ ⑦地域の発表会や展示会ができる小広間 ⑧創業・起業支援施設 ⑨地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等）	※ピュア金剛跡については、現状施設自体がないため調査対象から除外 ①屋内のこども遊戯施設 ②子育て支援施設（一時預かり、相談所、パパママカフェ等） ③食育や農業体験などのレクリエーション施設（こども料理教室等） ④若者から高齢者の集い場や多目的サロン、相談室 ⑤青少年の自習室 ⑥高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオ ⑦地域の発表会や展示会ができる小広間 ⑧創業・起業支援施設 ⑨地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等）	●第2位（102人） ・子育て世代を中心に高い評価を得ている ●第3位（92人） ・①屋内こども遊戯施設に次いで子育て世代を中心に評価を得ている ●第7位（57人） ・子育て世代に一定の評価はあるものの全体的な評価は高くない ●同数第5位（73人） ・⑥小スタジオに次いで60歳以上を中心に一定の評価を得ている ●同数第5位（73人） ・子育て世代を中心に一定の評価を得ている ●第4位（84人） ・60歳以上を中心に一定の評価を得ている ●第8位（46人） ・全世代的に評価は高くない ●第9位（23人） ・全世代で最下位と評価は高くない ●第1位（196人） ・全世代の地区住民で評価が高く最も求められている機能	・週1回以上の利用頻度項目の合計が38%と高い頻度となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が23%と比較的低い頻度となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が23%と比較的低い頻度となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が36%と比較的高い ・週1回以上の利用頻度項目の合計が36%と比較的高い ・週1回以上の利用頻度項目の合計が37%と高い頻度となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が15%と比較的低い頻度となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が30%と比較的中位の割合となっている ・週1回以上の利用頻度項目の合計が66%と高い頻度となっている	●掘り下げ意見 (屋内子ども遊戯施設、若者から高齢者の集い場や多目的サロン、相談室について) ・学校や職場、家以外の第3の居場所となる工夫 ・子どもから高齢者まで一緒に過ごせる場となる工夫 ・他地区（金剛東地区等）の住民との交流の場となる工夫 ・引きこもり・不登校の子どもの居場所にもなる工夫 (高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオについて) ・防音室、LIVE・展示会等のイベントが行える機能追加 ・ブックカフェや雑貨店併設による芸術文化機能の拡充 (地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等）について) ・地域で生産した農産物の提供	●課題 (地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等）について) ・「わっくCafe」（住民主体により、地区住民等参加型の日替わりカフェ・ショップオーナーによる拠点づくりが実現） ●第1位 ・「地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等）」 ●第2位 ・「屋内のこども遊戯施設」 ●第3位 ・「子育て支援施設（一時預かり、相談所、パパママカフェ等）」 ●第4位 ・「食育や農業体験などのレクリエーション施設（こども料理教室等）」 ●第5位 ・「若者から高齢者の集い場や多目的サロン、相談室」 ●同数第6位 ・「青少年の自習室」 ●同数第6位 ・「地域の発表会や展示会ができる小広間」 ●第8位 ・「高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオ」 ●第9位 ・「創業・起業支援施設」	●●● 住ふ地区等あの中さ大心ま通エざりりまやアな活存してや店のチャとレのン回シ遊ヤルを性可・能滞活と留かしたる促地区ユす住民アオ等剛の跡プ居のン場所再な編空と活用再編機能の柔軟な導入 ピュア金剛跡への新たな施設整備による機能導入 地域に密着したオープンかつ柔軟な空間活用	①屋内のこども遊戯施設 ②子育て支援施設（一時預かり、相談所、パパママカフェ等） ③食育や農業体験などのレクリエーション施設（こども料理教室等） ④若者から高齢者の集い場や多目的サロン、相談室 ⑤青少年の自習室・図書スペース ⑥高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオ ⑦地域の発表会や展示会ができる小広間 ⑧創業・起業支援施設（創業・起業相談所等） ⑨地域に密着した小規模店舗（小売店、飲食店等） ⑩屋外の屋根付きオープンスペース（マルシェイベント等活用） ⑪柔軟な利活用が可能なコンテナスペース（小規模なカフェや雑貨店、①～⑨の機能等への活用）			



利活用プラン案		【フェーズ3】 各対象施設・エリアの利活用プラン案における導入機能案の評価 ～各ステークホルダー(※)との利活用プラン案の共有も踏まえ整理～ (※南海電鉄、UR 都市機構、大阪狭山市、庁内関係部署)			
再生の方向性	再生整備事業	導入機能案 ( 画 : 金剛中央公園と重複するもの)	都市機能配置上の課題、施策・事業計画等との整合性を踏まえた導入効果等	既存サービス・機能配置等の状況	総評 (整備・機能導入の必要性)
●●● 住ふ地区 れあいの 中心 大通り まやア な既と 活動商 や店の テナ ン回シ ン遊 を性 可滞活 とさし せを促 進地区 ユす住 アる民 金オ等 跡プ居 ン場 再な所 編空と 活用再 編機能 の柔軟 な導入	ピュア金剛跡への新たな施設整備による機能導入	①屋内の子ども遊戯施設 画	・金剛地区における、子ども・子育て世代を中心に利用しやすい施設の整備が課題となっており、全天候型の屋内子ども遊戯施設（児童館機能）は、乳幼児から中学生までの子どもや子育て世代等の親子の利用促進につながる事が期待でき、ピュア金剛跡においても一定の導入効果はありと考えられる。	・地区周辺において、雨天でも子どもがのびのびと遊べる全天候型の屋内子ども遊戯施設は整っていない。	・市の施策方針である「子育てするなら富田林」・「子育て支援機能の充実」、地区全体課題である「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向け、子どもの遊び・健康増進・情操育成の場となる屋内子ども遊戯施設、及び乳幼児の一時預かりや子育て相談、子育て中の人の交流等をサポートする子育て支援施設の必要性は、ピュア金剛跡においても一定の必要性はありと考えられるが、 <u>同様の遊戯施設・子育て支援機能が見込まれた多機能施設整備によるシンボル拠点化を目指す金剛中央公園での相乗効果を持った集約整備が望ましい。</u>
		②子育て支援施設 (一時預かり、相談所、 ババママカフェ等) 画	・子どもの遊び場（①屋内子ども遊戯施設）とあわせて、来館した保護者に子育てに関する相談や情報提供が行える機能を備えた子育て支援施設は、市の施策方針に照らしても、導入機能として必要性が高いと考えられる。	・地区内、及び地区周辺において、NPO 団体等による子育て支援事業が展開されているが、子育て支援センター等の中核的施設機能は整っていない。	
		③食育や農業体験などのレクリエーション施設 (子ども料理教室等)	・地区の再生の方向性である「地区住民の居場所となる機能」として当該地での一定の導入効果はありと考えられる。 ・機能導入にあたっては、施設内容から地域団体等民間主体によるサービス提供が必要となる。	・農業体験などのレクリエーション機能を備えた子ども料理教室等の食育施設は、地区周辺にはない。 ・金剛銀座街商店街では、地元産野菜を販売するマルシェが定期的に開催されている。	・子ども料理教室等の子どもの食育を通じた交流機能の導入を図ることで、子育て世帯の利用促進・転入促進につながるから一定の必要性があると考えられる。(近隣市若者子育て世代アンケートでも一定の必要性評価を得ている。) ・ただし、機能導入にあたっては、その施設内容から民間が主体となつて行う必要がある。
		④若者から高齢者の集いの場や多目的サロン、相談室 画	・当該機能については、需要やニーズを踏まえ、地区内において不足している類似施設の機能を補完するためにも、必要性は高いと考えられる。 ・住民等の活動の活性化や、交流の場としての導入効果も高いと考えられる。	・市役所金剛連絡所2階ホールや市立集会所等の類似施設は、周辺において個別散在的に提供できているが、多世代が多目的な交流を促進するスペースとしての機能提供は地区内に少ない状況である。	
		⑤青少年の自習室・図書スペース 画	・Topicのような若者の育成拠点・居場所となる施設は、地区周辺になく、青少年SHの建替えにおいて、多世代利用促進につながる青少年の自習室機能は、ニーズや市の施策方針に照らしても導入効果は高いと考えられる。 ・図書スペースについては、地区内に、隣接する金剛図書館があることから市営施設としての導入必要性は低い、 <u>寄贈された絵本等に限定した図書スペース（コーナー）</u> は一定の導入効果があると考えられる。	・近接する地区センター施設の一画に整備された金剛地区魅力向上拠点「∞KON ROOM（インフィニットコンルーム）」において、青少年の自習室機能の社会実験が行われている。 ・地区内に、中核的な図書施設として、子どもの居場所にもなる金剛中央図書館があるものの、 <u>まちライブラリーなどの身近な図書スペースは、整っていない。</u>	・併設が想定される各子育て支援施設や交流スペース、機能充実が想定される公園部と連携した活動や取組みが可能となる「⑬高齢者の社会参加支援施設」
		⑥高齢者を含めた趣味の活動に使える個室や小スタジオ 画	・当該機能については、需要やニーズ、機能特性等を踏まえ、 <u>重複する金剛中央公園の「まちづくり活動や多目的な交流スペース(個室のスペース)」と併せて</u> 、金剛老人憩いの家等の類似施設との統合も含めた検討が必要となる。	・老人憩いの家や市立集会所等の類似施設は、個別散在的に提供できているが、 <u>高齢者を含め多世代が多目的な交流を促進するスペースとしての機能提供は地区内に少ない状況である。</u>	
		⑦地域の発表会や展示会ができる小広間 画	・当該機能については、需要やニーズ、機能特性等を踏まえ、 <u>重複する金剛中央公園の「まちづくり活動や多目的な交流スペース(広間のスペース)」と併せて</u> 、地区内の集会所等の類似施設との統合も含めた検討が必要となる。	・金剛連絡所の2階ホールや集会所等の類似施設は、個別散在的に提供できているが、 <u>多世代が集い・普段から何気なく目にする気軽な広間のスペースとしての機能提供は地区内に少ない状況である。</u>	・地区住民も含め、誰もが創業・起業にチャレンジできる支援を充実していく上で一定の必要性はありと考えられるが、 <u>常設(恒久的施設)として整備すべきか、専門家派遣や活動助成とすべきかの検討が必要となる。</u>
		⑧創業・起業支援施設 (創業・起業相談所等)	・創業・起業支援施設(相談所等)機能については、「地区住民等のさまざまな活動やチャレンジを可能とさせる活用」を図っていくとした再生の方向性とも合致しており、一定の導入効果はありと考えられるが、 <u>単一機能で常設とすべきか、支援の手法等も含め、あり方について検討が必要となる。</u>	・地区に密着した創業・起業支援施設(相談所等)機能は整っていない。 ・地域の居場所やだれもが参加・チャレンジできる場として、地域団体が「わっく Café」を運営している。	
		⑨地域に密着した小規模店舗 (小売店、飲食店等)	・ピュア金剛(公設市場)の閉鎖・商店街の衰退等により、地区センターとしての活力・競争力は低下しているが、 <u>地域に密着した小規模店舗の導入効果は高いと考えられる。</u> ・地域に密着した小規模店舗という導入機能の性質から <u>基本的には、民間主体による事業展開が必要となる。</u>	・既存の商業施設だけでは、 <u>地区住民に密着した日常的な利便機能の十分な提供には至っていない。</u> ・ <u>金剛マルシェ(地場産やさい市)が月1回定期的に開催されている。</u>	・オープンな空間再編を図ることで、ふれあい大通りからの回遊性や既存商店街を含めた滞留性を促進することができるから必要性は高いと考えられる。 ・オープンスペースを利用したマルシェイベント等を活用した新規創業者などとの交流の機会となる仕組みづくりや市内観光イベントとの連携・観光資源との結びつけにもつなげていくことが重要となる。
		⑩屋外の屋根付きオープンスペース (マルシェイベント等活用)	・オープンスペース機能については、再生の方向性である「ふれあい大通りや既存商店街との回遊性・滞留性を促進するオープンな空間再編」を図っていくこと、活性化や交流の機会創出にもつながるマルシェイベント等にも活用可能なことから導入効果は高いと考えられる。 ・新たなオープンスペースとして、ふれあい大通りとの連携による活用効果が期待でき、そのためには、 <u>ふれあい大通りの歩道橋撤去の検討も必要となる。</u> ・コンテナスペース機能については、再生の方向性である「地区住民等の居場所となる機能の柔軟な導入」、「地区住民等のさまざまな活動やチャレンジを可能とさせる活用」を図っていくための機能導入ツール(器)として、 <u>柔軟な機能の配置・変更が可能な点からも導入効果は高いと考えられる。</u> ・UR都市機構の所有地であること等を踏まえ、 <u>事業スキーム検討や既存施設の撤去、基盤整備については、公民が連携して進めていく必要があると考えられる。</u>	・金剛銀座街商店街前には、既存の中央広場があるが、 <u>ふれあい大通りからの視認性が悪く、誘客が図りづらいことから、回遊性・滞留性を促進する有効なオープンスペースとして活かされていない。</u> ・既存の中央広場では、 <u>金剛マルシェ(地場産やさい市)が月1回定期的に開催されている。</u> ・地域の居場所やだれもが参加・チャレンジできる場として、地域団体が「わっく Café」を運営している。	
⑪柔軟な利活用が可能なコンテナスペース (小規模なカフェや雑貨店、①～⑨の機能等への活用)	・オープンスペース機能については、再生の方向性である「ふれあい大通りや既存商店街との回遊性・滞留性を促進するオープンな空間再編」を図っていくこと、活性化や交流の機会創出にもつながるマルシェイベント等にも活用可能なことから導入効果は高いと考えられる。 ・新たなオープンスペースとして、ふれあい大通りとの連携による活用効果が期待でき、そのためには、 <u>ふれあい大通りの歩道橋撤去の検討も必要となる。</u> ・コンテナスペース機能については、再生の方向性である「地区住民等の居場所となる機能の柔軟な導入」、「地区住民等のさまざまな活動やチャレンジを可能とさせる活用」を図っていくための機能導入ツール(器)として、 <u>柔軟な機能の配置・変更が可能な点からも導入効果は高いと考えられる。</u> ・UR都市機構の所有地であること等を踏まえ、 <u>事業スキーム検討や既存施設の撤去、基盤整備については、公民が連携して進めていく必要があると考えられる。</u>	・金剛銀座街商店街前には、既存の中央広場があるが、 <u>ふれあい大通りからの視認性が悪く、誘客が図りづらいことから、回遊性・滞留性を促進する有効なオープンスペースとして活かされていない。</u> ・既存の中央広場では、 <u>金剛マルシェ(地場産やさい市)が月1回定期的に開催されている。</u> ・地域の居場所やだれもが参加・チャレンジできる場として、地域団体が「わっく Café」を運営している。	・機能導入ツール(器)として、簡易かつ柔軟なコンテナを導入することで、誰もが参画しやすい敷居を下げた場の提供が可能となり、地区住民を含めた幅広い担い手によるにぎわい・居場所づくりにつながるから、 <u>必要性が高いと考えられる。</u> ・なお、 <u>基本的には、民間主体での設置となるが、UR都市機構の所有地であること等を踏まえ、事業スキーム検討や既存施設の撤去、基盤整備については、公民が連携して進めていく必要があると考えられる。</u>		





利活用プラン案		【フェーズ3】 各対象施設・エリアの利活用プラン案における導入機能案の評価 ～各ステークホルダー(※)との利活用プラン案の共有も踏まえ整理～ (※南海電鉄、UR都市機構、大阪狭山市、庁内関係部署)				
再生の方向性	再生整備事業	導入機能案	都市機能配置上の課題、施策・事業計画等との整合性を踏まえた導入効果等	既存サービス・機能配置等の状況	総評 (整備・機能導入の必要性)	
●●● 南海金剛駅 前大通り …道路の 路肩や歩道 の活性化 …空間活用 …将来的な 沿道土地 利用の再 編は機能 の再編に 合わせた 官民空間 一体による にぎわい 活用	駅前施設の 建替え高度 利用の促進 による都市 機能の充実	①日常生活用品を扱う小売店舗 (既存スーパーと差別化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口動態や社会情勢の変化、各再生事業によるマーケットへの影響等を見据え、<b>投資効果を見極めた必要性判断が肝要となる。</b></li> <li>にぎわいの核として都市機能の強化を図るべき駅において、<b>周辺の既存スーパー等と差別化を図りつつ、住民や通勤通学利用者(学生・サラリーマン)等が便利に立ち寄れる小売店舗の必要性は高い</b>と考えられる。</li> <li>導入機能(施設機能)の内容より<b>民間主体による機能導入</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の商業施設機能では、1日の平均乗降客数約3万3千人(H30年度)の特急停車駅の機能として、<b>便利に気軽に立ち寄れる小売店舗等の機能が不足している。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の商業施設機能では、1日の平均乗降客数約1日3万3千人(H30年度)の特急停車駅の機能として弱く、<b>周辺の既存スーパー等と差別化された魅力的な日常生活用品を扱う小売店舗を導入することで、通勤通学利用者(学生・サラリーマン)の利便性向上を図ることができ、必要性は高い</b>と考えられる。(地区住民アンケートでも必要性順位・想定利用頻度ともに高い評価を得ている。)</li> </ul>	<b>高</b> (民間主体)
		②コワーキングスペース (小規模オフィス空間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における昨今の働き方の変容から、大都市郊外の<b>駅前におけるコワーキングスペースの需要は高まってきており、一定の必要性はある</b>と考えられる。</li> <li>導入機能(施設機能)の内容より<b>民間主体による機能導入</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コワーキングスペース機能は、地区センター施設の一画に整備された「<b>∞KON ROOM(インフィニットコンルーム)</b>」において、コワーキングスペース機能の<b>社会実験が行われている</b>。(令和3年1月～令和5年2月まで)</li> <li>一方で、<b>需要が高いと思われている駅前においては、機材が提供されていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前におけるコワーキングスペースの需要は高まってきており、民間施設による一定の必要性はあると考えられる。</li> <li>ただし、機能導入にあたっては「<b>∞KON ROOM</b>」におけるコワーキングスペースの<b>利活用状況の社会実験の実施状況も踏まえ、投資効果等を検討</b>していく必要がある。</li> </ul>	<b>中</b> (民間主体)
		③駅と住宅地をつなぐデッキ通路 (空中歩道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッキ通路(空中歩道)は、駅舎と周辺住宅地を結ぶことで<b>アクセス利便性の強化と共に駅前周辺のウォーカブルな回遊性、滞留性、駅舎テナント施設のにぎわいの促進にもつながることから、駅周辺を含めた一体的整備において導入効果は高い</b>と考えられる。</li> <li>機能導入にあたっては、<b>南海電鉄、分譲団地管理組合と大阪狭山市、富田林市による、それぞれの事業方針を踏まえた調整が必要</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺住宅地から駅前へのアクセスは、<b>横断歩道等を介した地上での一定限られたアプローチとなっている。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅舎と周辺住宅地のアクセス強化と共に駅前周辺の<b>ウォーカブルな回遊性、滞留性、駅舎テナント施設のにぎわいの促進にもつながることから、駅周辺を含めた一体的なデッキ通路整備の必要性は高い</b>と考えられる。(地区住民アンケートでもある程度の必要性評価を得ている。)</li> <li>機能導入にあたっては、<b>南海電鉄、分譲団地管理組合と大阪狭山市、富田林市による、それぞれの事業方針を踏まえた調整が必要</b>となる。</li> </ul>	<b>高</b> (公民連携)
		④駅前広場や道路空間等を 活用した滞留空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞留空間(パークレット)は、<b>駅前の公共空間での人溜まり・居場所・にぎわいを生み出す付加的機能(公共空間の使いこなし)</b>として導入効果は高いと考えられる。</li> <li>各地で社会実験等も行われており、駅前等の<b>公共空間の多機能化(使いこなし)・飲食店等との連携の視点が重要視</b>されてきている。</li> <li>導入機能(施設機能)の内容より<b>民間主体による機能導入</b>が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅構内や駅前広場には<b>気軽に座れるベンチも少なく、待ち時間を過ごすなど、駅周辺で滞在できる空間が乏しい。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前の公共空間での人溜まり・居場所を生み出す<b>滞留空間(パークレット)はにぎわいを生み出す付加的機能として一定の必要性がある</b>と考えられる。(地区住民アンケートでもある程度の必要性評価を得ている。)</li> <li>ただし、機能導入にあたっては、<b>民間を主体とし、社会実験から始め、利用状況や導入効果を評価しながら進めていく</b>必要がある。</li> </ul>	<b>中</b> (民間主体)
		⑤地区を循環、近隣の拠点と 連絡する公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節拠点である駅前や地区内各所における公共交通の充実、<b>高齢者の移動支援や外出促進にもつながることから必要性が高い</b>と考えられる。</li> <li>なお、公共交通の充実については、<b>乗合タクシーや配送・移動マッチングサービス等の</b>デマンド型の公共交通も含め<b>全市的な交通政策の中で整理していく必要がある。</b></li> <li>※市では、「<b>地域公共交通計画</b>」の策定も検討中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスによる周辺主要施設等への一定の公共交通サービスは提供されているものの、<b>利用者意向に柔軟に対応できるデマンド型の公共交通の提供にまでは至っていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節拠点である駅前や地区内各所における<b>デマンド型の公共交通の充実により、高齢者の移動支援や外出促進にもつながることから必要性は高い</b>と考えられる。(地区住民アンケートでも高い必要性評価を得ている。)</li> <li>ただし、機能導入にあたっては、<b>全市的な交通政策を踏まえ、中</b>で、「<b>地域主体型交通</b>」等による検討が必要となる。</li> </ul>	<b>高</b> (公民連携)
		⑥低炭素モビリティの活用 (気軽に周辺施設への移動・周遊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節拠点である駅前における誰もが気軽に利用でき、柔軟な使い方が可能な<b>低炭素モビリティ(利用者自らが運転する小型EV車や電動自転車等)によるシェアリングサービス等の導入は、地区内外の近隣拠点の利用促進や広域的な連携・ネットワークを図る上で導入効果は高い</b>と考えられる。</li> <li>機能導入にあたっては、<b>民間主体としながらも設置場所の調整等で公民が連携し進めていく必要がある。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>誰もが気軽に利用でき、柔軟な使い方が可能な低炭素モビリティ(利用者自らが運転する小型EV車や電動自転車等)は導入されていない(一般的なレンタサイクルもない)。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節拠点の駅前における<b>低炭素モビリティ(利用者自らが運転する小型EV車や電動自転車等)の導入を図ることによって、広域的な連携・ネットワークによる地区内外の近隣拠点の利用促進につながることから必要性は高い</b>と考えられる。</li> <li>しかしながら、<b>地区住民アンケート等の必要性評価は高くはないため、機能導入にあたっては、社会実験等により需要を確かめながら行う必要がある。</b></li> </ul>	<b>中</b> (民間主体) (公共支援)
		⑦送迎ステーション (待機児童の解消)	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童対策として<b>民間認可保育施設の誘致を優先して進めているため、送迎ステーションについては、その有効性について検討</b>していく必要がある。</li> <li>なお、保育送迎ステーションは、市街地の待機児童を郊外の余裕のある保育施設へ送迎することで待機児童の解消を図るものであるが、<b>近年は、民間認可保育施設の誘致により待機児童は解消に向かっている</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>送迎ステーションの提供は出来ていない。</b></li> <li>待機児童対策として、<b>民間認可保育施設の誘致を優先して進めている。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童対策として民間認可保育施設の誘致を優先して進めているため、<b>送迎ステーションについては、その有効性について検討</b>していく必要があるものの、現状として<b>民間認可保育施設の誘致により待機児童は解消に向かっているため、今後の再生事業による子育て世帯の転入状況に応じた検討が必要</b>となる。</li> </ul>	<b>中</b> (民間主体) (公共支援)
		⑧医療モール (複合医療サービスの充実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>金剛駅周辺には、<b>既に各種医院、クリニックが複数点在しており、医療モールの必要性は低い</b>と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺を中心に<b>各種医院、クリニックが複数点在しているが、駅舎内、駅前において、医療モール(複合医療サービス)は整っていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金剛駅周辺には、<b>既に各種医院、クリニックが複数点在しており、医療施設の必要性は低い</b>と考えられる。ただし、<b>モール化による一定の集約効果はあること</b>から今後の駅利用者等のニーズを注視していく必要がある。</li> </ul>	<b>低</b> (民間主体)
		⑨お洒落なカフェ・レストラン、 ブックカフェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>にぎわいの核として都市機能の強化を図るべき駅において、<b>住民や通勤通学利用者(学生・サラリーマン)等が気軽に寄れる居場所にもなるお洒落なカフェ・レストランの必要性は高い</b>と考えられる。また、公共空間を利用した<b>滞留施設(パークレット)等との連携による相乗効果も期待</b>できる。</li> <li>導入機能(施設機能)の内容より<b>民間主体による機能導入</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の飲食店(東出口:ファストフード店、うどん店、喫茶店(軽食))のみでは、<b>1日の平均乗降客数約3万3千人(H30年度)の特急停車駅の機能としては、不足している。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の飲食店(ファストフード店、うどん店、喫茶店(軽食))では、<b>1日平均乗降客数約3万3千人(H30年度)の特急停車駅前の機能として弱く、お洒落なカフェ・レストラン(民間)を導入することで、中核的都市機能の充実と共に公共空間を利用した滞留施設(パークレット)との連携による住民や通勤通学利用者(学生・サラリーマン)等の気軽に集まれる居場所づくりにもつながることからその必要性は高い</b>と考えられる。</li> </ul>	<b>高</b> (民間主体)
●●● ふれあい大通り 及び沿道の 利活用促進	キッチンカー 整備事業による 沿道ににぎわい 創出やリノベーション の促進	⑩道路の路肩や歩道での キッチンカー等の移動式店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区住民の日々の生活の移動軸となるふれあい大通りの歩道等の公共空間への<b>キッチンカー等の移動式店舗の導入は、駅前から続くにぎわい軸の創出を目指した取組として導入効果は高い</b>と考えられ、パークレットとの連携も期待される。</li> <li>各地でキッチンカー導入の社会実験も行われており、<b>公共空間の多機能化(使いこなし)の視点が重要視</b>されてきている。</li> <li>導入機能(施設機能)の内容より<b>民間主体による機能導入</b>が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場から続くふれあい大通りは、<b>沿道の住宅や金剛銀座街商店街、歩道との一体性が図られておらず、通りと一体化したにぎわい空間としては活用されていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい大通りの歩道等の公共空間への<b>キッチンカー等の導入により、沿道空間のにぎわい活用を図ることによって、駅前から続くにぎわい軸の創出につながることから、その必要性は高い</b>と考えられる。(地区住民アンケートでも一定の必要性評価を得ている。)</li> <li>ただし、機能導入にあたっては、<b>民間を主体とし、社会実験から始め、利用状況や導入効果を評価しながら進めていく</b>必要がある。</li> </ul>	<b>高</b> (民間主体)
		⑪久野喜台1号公園のスポーツ活用 (バスケットコート、スケート ボードパークの整備等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの住民の目に触れる駅前公園での<b>若者居住促進、スポーツの日常化を目指した付加的機能としてスポーツ活用は一定の導入効果がある</b>と考えられる。</li> <li>ただし、機能導入にあたっては、<b>金剛中央公園の導入機能で対応可能な施設との仕分けや投資効果、当該公園の位置的ポテンシャルを勘案した土地利用再編の可能性を踏まえ、慎重に検討</b>していく必要がある。</li> <li>また、<b>住宅と隣接していることを踏まえ、騒音抑制等の配慮が必要</b>である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ活動空間は、地区内では<b>金剛中央公園におけるスポーツホール(アリーナ)やグラウンド、地区外近接施設としては市民総合体育館が存在している。</b></li> <li>若者等のニーズが見込める、<b>屋外空間で気軽にバスケットボールやスケートボードを楽しめる環境は、提供出来ていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの住民の目に触れる駅前公園の<b>スポーツ活用は若者居住促進、スポーツの日常化を目指した付加的機能として一定の必要性がある</b>と考えられるが、地区全体でのスポーツ活動空間は一定程度サービス提供されていることから、導入にあたっては、<b>金剛中央公園の導入機能で対応可能な機能との仕分けや投資効果、当該公園の位置的ポテンシャルを勘案した将来的な土地利用再編の可能性も踏まえ、慎重に検討</b>していく必要がある。</li> </ul>	<b>中</b>
		⑫沿道土地利用と一体となる にぎわい空間づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区住民の日々の生活の移動軸となるふれあい大通りに沿道において、<b>沿道の住宅等との一体的な空間づくりは、駅前から続くにぎわい軸の創出において導入効果がある</b>と考えられ、パークレットやキッチンカーとも連携した<b>官民地の一体的なにぎわい創出が重要</b>となる。</li> <li>導入機能の検討に際し、<b>道路・住宅等の所有管理者等、公民連携による検討が必要</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場から続くふれあい大通りは、<b>沿道の住宅や金剛銀座街商店街、歩道との一体性が図られておらず、通りと一体化したにぎわい空間としては活用されていない。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区住民の生活軸となるふれあい大通り沿道において、<b>住宅等と一体的となる機能等の導入を図ることによって、駅前から続くにぎわい軸の創出と共に金剛中央公園をはじめとした他施設への利用客誘引にもつながることからその必要性は高い</b>と考えられる。(地区住民アンケートでも必要性順位・想定利用頻度ともに高い評価を得ている。)</li> <li>公民連携により<b>地域にも開かれたにぎわい機能を導入すると共にパークレットやキッチンカーとも連携</b>していくことが重要となる。</li> </ul>	<b>高</b> (民間主体)



エリア施設等	【フェーズ1】 各対象施設・エリアの利活用プラン案(たたき台)の作成					【フェーズ2】 各対象施設・エリアの利活用プラン案の設定													
	現状・課題等整理		初動期の意向把握		利活用プラン案(たたき台)	地区住民アンケート				地区住民等ワークショップ		近隣市若者子育て世代アンケート	利活用プラン案						
	既存施設の現状 ※公園全体面積：約3.75ha(池を除く)	再生課題	地域団体アンケート 関係団体・事業者ヒアリング	まちづくり会議 参加者への意見募集 (求める機能充実)	再生の方向性 案	導入機能案	各既存施設の「満足度」と「利用頻度」		導入機能案の「必要性」「利用頻度」		利活用プラン案の掘り下げ・新たな提案の掘り上げ	導入機能案の実現のための課題と解決に向けた取組検討	あなたが住む地域の公園において、あったら利用したい機能	再生の方向性	再生整備事業	導入機能案 ※アンダーライン部はフェーズ1のたたき台から追加された機能案			
池・公園外周部	●池部 ・所有者：半田財産区(大阪狭山市) ・管理者：寺ヶ池水利組合  ●公園外周部 (現況山林部・外周部の桜) ・外周部の桜(ソメイヨシノ)は寿命を迎えつつある ・所有者：富田林市 ・管理者：富田林市 農とみどり推進課	●これまでのまちづくり活動を活かしたファン・クルーの発掘、コミュニティ形成 ●地区全体のコンセプトと運動するともに、地区のシンボリックな公園としてのポテンシャルを活かした再整備案の検討	【地域団体アンケート】 ●金剛地区をフィールドとして活動する可能性 ・回答のあった市内の市民公益活動団体20団体の内、16団体(約8割)が「活動・活動拡大の可能性がある」、「条件が整えば活動・活動拡大の可能性が有る」と回答  ●整備してほしい施設 (第1位) 集会施設(6団体) (第2位) レンタルスペース(子育て、健康づくり) (5団体) (第3位) 公園、広場(3団体)  ●活動を想定する場所 ・4対象施設・エリアの内、金剛中央公園は1団体(約0.5割)が活動する場合の場所・施設として選択  ●寺池公園にあると活動しやすくなると思う施設機能 (第1位) 駐車場(7団体) (第2位) 飲食店・カフェ(4団体) (第3位) その他(3団体) ・歩道、緑地 ・周回できる遊歩道 ・グランピング施設	●施設整備 (商業施設) ・カフェ、レストラン ・コンビニ ・マルシェの開催 キッチンカー  (文化施設) ・交流施設 ・図書館  (余暇施設) ・BBQができるスペース  (その他) ・駐車場 ・展望台兼ステージ  ●園路等の整備 (園路整備) ・水辺空間が感じられる園路 ・園路のスロープ化 ・遊歩道の街灯  (歩道整備) ・北側道路の一方通行化・歩道拡幅  (その他) ・吊り橋の設置 ・斜行エレベーター ・花壇の設置  ●公園管理 (組織) ・日常管理を行うボランティア団体の設立  (管理・取組方針) ・樹木の継続的な剪定管理 ・清掃活動(月1回) ・カフェ活動の検討・推進  ●その他 ・池への蓮・スイレンなどの花の植え付け ・広場・通路・地形等各エリアへの名付け	①金剛山や水辺等を眺める展望デッキ広場(滞留・休憩スペース)  ②親水空間(親水護岸の整備)  ③公園全体を周遊する歩道・通路  ④コミュニティ・交流施設(簡単に設置できるコンテナハウス等)  ⑤木漏れ日広場、林間広場(音楽ライブ等のイベント、間伐材を利用した遊具による遊び場等)  ⑥林間カフェ	- (池部・公園外周部のアンケートデータなし)	●第2位(153人) ・週1回以上の利用頻度項目の合計が47%と比較的高い ●第5位(65人) ・週1回以上の利用頻度項目の合計が59%と高い頻度となっている ●第1位(198人) ・全ての世代で1位と地区住民に最も求められる機能と考えられる	●掘り下げ意見 (公園全体を周遊する歩道・通路について) ・全体が短時間で、短時間ごとに少しずつ進める ・里山公園エリアの水辺広場へのバリアフリールートの確保  ★新たな機能提案(取組提案) ・公園外周の桜(ソメイヨシノ)の世代交代(寿命の50年近い)	●課題 ・水利組合との調整 ・大阪狭山市との調整(金剛山を背景とした最も景色の良い展望所は大阪狭山市域となる) ・桜の現状診断 →取組案 ・水利組合との調整問題については大阪狭山市民(金剛一丁目自治会)との民・民の連携からはじめていく	●第1位 ・「林間カフェ」  ●第2位 ・「周辺の山や水辺等を眺める展望デッキ広場(滞留・休憩スペース)」  ●第3位 ・「公園全体を周遊する歩道・通路」  ●第4位 ・「林間広場(音楽ライブ等のイベント、間伐材を利用した遊具による遊び場等)」	●再生の方向性 ●池・公園外周部の再整備 ●だ水くれ辺ルもやいがみ・使どついりアこ、んな広がのせが拡るり大かあに園るつ空眺な間望がへをるの活住再か民編し主た体空の間取再組編による漸進的整備・再編	●展示デッキ広場整備 ●親水空間の整備 ●周遊路・通路の整備 ●桜の世代交代	①金剛山や水辺等を眺める展望デッキ広場(滞留・休憩スペース)  ②親水空間(親水護岸の整備)  ③公園全体を周遊する歩道・通路  ④桜の植樹・植え替え						
														●北西部公園エリア ・広場(遊具あり) ・外周部の桜(ソメイヨシノ)は寿命を迎えつつある ・水際のネットフェンスが景観を損なっている ・エリア南側・東側は、うっそうとした樹木が多く、池への眺望を遮っている  ●南西部公園エリア ・外周部の桜(ソメイヨシノ)は寿命を迎えつつある ・水際のネットフェンスが景観を損なっている ・池際こっさうとした樹木が多く、池への眺望を遮っている ・両所有者：富田林市 ・両管理者：富田林市 農とみどり推進課	●北西部公園エリアの満足度・利用頻度 ・利用頻度は、「利用していない」が68%、満足度も「わからない」が43%、「どちらでもない」が26%と、住民に利用されていないと考えられる。  ●南西部公園エリアの満足度・利用頻度 ・利用頻度は、「利用していない」が74%、満足度も「わからない」が46%、「どちらでもない」が24%と、住民に利用されていないと考えられる。	●第6位(28人) ・週1回以上の利用頻度項目の合計が39%と比較的高い	★新たな機能提案(北西公園エリアについて) ・公園内で一番使い易い北西公園エリアの多様な使いこなし ・催し・イベントの継続的実施 ・斜面を使ったスベリ遊び	●課題 ・集会施設の設置(南西エリア) →取組案 ・集会施設の青写真(計画)の検討(公園内に設置する場合は、特定の者のためではない開かれた施設としての整備が求められることを踏まえ、市と調整する必要がある)	●5各種イベントや地形を活かした遊び場の創出  ●6コミュニティ・交流施設(簡単に設置できるコンテナハウス等)



利活用プラン案		【フェーズ3】 各対象施設・エリアの利活用プラン案における導入機能案の評価 ～各ステークホルダー(※)との利活用プラン案の共有も踏まえ整理～ (※南海電鉄、UR 都市機構、大阪狭山市、庁内関係部署)					
再生の方向性	再生整備事業	導入機能案	都市機能配置上の課題、施策・事業計画等との整合性を踏まえた導入効果等	既存サービス・機能配置等の状況	総評 (整備・機能導入の必要性)		
●●● だ水ク れ辺ル もやー がみ・ 使どフ いリア こ、ン な広の せが拡 るり大 公あに 園るつ 空眺な 間望が へをる の活住 再か民 編し主 た体空 の間取 再組 編によ る漸 進的 整備・ 再編	池・公園外周部の再整備	展望デッキ広場整備	①金剛山や水辺等を眺める展望デッキ広場 (滞留・休憩スペース)	・金剛山や水辺等を眺める展望デッキ広場は、まちなかの貴重な自然資源である寺ヶ池を活かしたレクリエーション機能を拡充する施設として、その導入効果は高いと考えられる。	・寺ヶ池と各公園エリアの間にあるうっそうとした樹木により、寺ヶ池の眺望等の水辺を楽しめる環境が提供出来ていない。	・うっそうとした樹木により池への視界が遮られた水際に金剛山や寺ヶ池を眺められる展望デッキ広場や休憩スペースを整備することで、まちなかの貴重な自然資源を享受できる憩い・レクリエーション空間が創出され、地区住民等の利用促進につながることから必要は高いと考えられる。(地区住民アンケートでも高い必要性評価を得ている。)	高
		親水空間の整備	②親水空間 (親水護岸の整備)	・親水護岸整備による寺ヶ池への視認性を保った一定の離隔確保による安全性の向上や水際の設えによる景観向上、水際の草木等の維持管理の軽減等の相乗効果が期待でき、上記の水辺等を眺める展望デッキ広場等との連携整備による整備効果は高いと考えられる。	・寺ヶ池と各公園エリアの間には、ネットフェンスが設置されており安全性は保たれているが、うっそうとした樹木により寺ヶ池への眺望等の水辺を楽しめる環境が提供出来ていない。	・親水護岸整備による寺ヶ池への安全性の向上や景観向上、維持管理の軽減等の効果が期待でき、上記の水辺等を眺める展望デッキ広場等との連携整備による相乗効果を含め必要性は高いと考えられる。(地区住民アンケートでは低い必要性順位となっている。)	高
		周遊路通路の整備	③公園全体を周遊する歩道・通路	・寺池公園の外周部 (約 1.3km) は、適度なウォーキングに見合っており、寺ヶ池等の自然資源への眺望等を活かしたウォーキングによる継続的な健康増進活動の場として周遊路の整備効果は高いと考えられる。	・公園南側を除いて、敷地周囲の公道には歩道が整備されているものの、幅が狭く、場所によっては傾斜がきつく、自然資源である寺ヶ池もほとんど見えない状況であり、魅力ある一続きの周遊路としての機能は提供出来ていない。	・寺池公園の適度なウォーキングに見合った外周長 (約 1.3km) と寺ヶ池等の自然資源への眺望等を活かした健康増進活動・レクリエーションの場として、周遊路の整備の必要性は高いと考えられる。(地区住民アンケートでも必要性順位・想定利用頻度ともに高い評価を得ている。)	高
		桜の世代交代	④桜の植樹・植え替え	・金剛地区が整備された当初に植えられた公園外周の桜 (ソメイヨシノ) の寿命が近づいており、市内の桜の名所の一つとして、市民をはじめ、広く親しまれ続けるためにも、植え替えの必要性は高いと考えられる。	・寺池公園の外周部 (北側・東側・南側) の桜 (ソメイヨシノ) は、市内の桜の名所の一つとして、市民をはじめ、広く親しまれているが、桜の寿命等により、植え替えが必要な時期が到来している。 ・毎年、桜の開花時期に、「さくらまつり」など、地区住民主体のイベント等が行われている。	・金剛地区が整備された当初に植えられた公園外周の桜 (ソメイヨシノ) の寿命が近づいており、市内の桜の名所の一つとして、市民をはじめ、広く親しまれてきた風景を保全していくためにも、桜の植え替えの必要性は高いと考えられる。	高
	西部公園エリアの活用	西部公園エリアの多機能化	⑤各種イベントや地形を活かした遊び場の創出	・西部公園エリアにおいて、地区住民が主体となって定期的に行われている各種イベントの継続と共に子どもの公園活用を促進する地形を活かした遊び場 (斜面を使ったスベリ遊び場等) の創出は、公園の利活用を促進する効果があると考えられる。 ・現在の地区住民の主体的な取組を踏まえ、地域主体による公園の使いこなし方を考えることが必要となる。	・西部公園エリアにおいては、地区住民主体のイベントが定期的実施されている。 ・不足する遊具を補完し、公園の利活用にもつながる、地形を活かした子どもの遊び場の創出が求められている。	・西部公園エリアにおいて、地区住民が主体となって既に行われている各種イベントの継続と共に不足する遊具を補填する地形を活かした遊び場 (斜面を使ったスベリ遊び場等) の民間主導による創出は、公園の利活用促進と共にコミュニティ形成にもつながることから必要性は高いと考えられる。 ・地域主体による使いこなし方やソフト的取組による機能導入を目指す必要があると考えられる。	高 (民間主体)
		コミュニティ施設整備	⑥コミュニティ・交流施設 (簡単に設置できるコンテナハウス等)	・南西部公園エリア等における屋内コミュニティ施設 (コンテナハウス) は、自然資源の活用を主とした屋外レクリエーション・健康増進の場としての寺池公園において必要性は低いと考えられる。 ・コミュニティ施設 (集会施設) の設置検討については、特定の人や団体等のためではない開かれた施設としての機能導入に留意する必要がある。	・西部公園エリアにおいては、地区住民主体のイベントが定期的実施されている。 ・住民活動を活性化させる、屋内、或いは半屋内空間によるコミュニティ・交流機能は整っていない。	・南西部公園エリア等における屋内コミュニティ施設 (コンテナハウス) は、自然資源の活用を主とした屋外レクリエーション・健康増進の場としての寺池公園において必要性は低いと考えられる。(地区住民アンケートでも低い必要性評価となっている。) ・コミュニティ・交流機能については、西部公園エリアで行われているイベント等の地区住民の主体的な取組により育てていくことが考えられる。	低
		東部里山公園エリアの再整備	里山木漏れ日広場整備 + 林間カフェ等の整備	⑦木漏れ日広場、林間広場 (音楽ライブ等のイベント、間伐材を利用した遊具による遊び場等)	・薄暗く人が寄り付かない東部里山公園エリアにおいて、そのイメージを刷新する木漏れ日広場・林間広場の整備は、森林浴をはじめ、安全な子どもの遊び場、音楽ライブ等の多目的な利活用促進が図れ、アフターコロナにおける屋外のコミュニケーションの場としても導入効果が高いと考えられる。	・現状の東部里山公園エリアは、うっそうとした樹木により薄暗く防犯上問題があり、起伏も激しいため、子どもが遊ぶには安全上も問題があり、活用目的が自然林の散策等の限定的なものとなっている。 ・最近、ボランティアにより、樹木の伐採や下草刈りが行われており、徐々に園内が明るく、安全になっている。	・薄暗く起伏のある地形による防犯上・安全上の問題から人が寄り付かなくなった東部里山公園エリアにおいて、そのイメージを刷新する木漏れ日広場・林間広場の整備は、森林浴をはじめ、安全な子どもの遊び場、音楽ライブ等の多目的な利活用促進が図れると共にアフターコロナにおける屋外のコミュニケーションの場としても必要性は高いと考えられる。(地区住民アンケートでも一定の必要性評価を得ている。)
	公益施設等の整備		⑧林間でのカフェやキッチンカーの来店促進	・上記の木漏れ日広場・林間広場の整備を前提とした場合の更なる利活用促進としての林間カフェ、或いはキッチンカーの来店は、相乗効果が図られ、一定の導入効果があると考えられる。 ・導入機能 (施設機能) の内容より、民間主体による機能導入となる。	・カフェやキッチンカーの来店による飲食提供など、来街者を含め、広く公園利用者を呼び込む魅力的な機能は提供出来ていない。	・上記の木漏れ日広場・林間広場の整備を前提とした民間主体による林間カフェ、或いはキッチンカーの来店により、公園利用の多目的化が図られ、来街者も含めた更なる利活用促進につながることから一定の必要性があると考えられる。(近隣市若者子育て世代アンケートでは高い必要性評価を得ている。)	中 (民間主体)
	公益施設等の整備		⑨公衆トイレ、駐車場・駐輪場の整備	・更なる利活用促進に向け、滞在時間の長時間化や来園者の誘致範囲を広げるための公衆トイレ、駐車場・駐輪場の整備の必要性は高いと考えられる。	・広範な寺池公園には、滞在時間の長時間化が図れる公衆トイレ、や駐車場・駐輪場は提供出来ていない。	・公衆トイレ、駐車場・駐輪場の整備は、公園滞在時間の長時間化や来園者の誘致範囲の拡大により更なる利活用促進につながることから必要性は高いと考えられる。 ・機能導入にあたっては、一定の平地が必要ともなることから上記の木漏れ日広場・林間広場等の造成計画との連携・調整が必要となる。	高